

令和5年度 第8回頸城区地域協議会次第

日時：令和5年11月22日（水）
午後6時30分～
場所：頸城コミュニティプラザ
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議 事 項

- (1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について…資料No.1-1～1-4
- (2) 地域協議会活動報告会について

4 報 告 事 項

- (1) 上越市地区公共交通懇話会について…資料No.2-1、2-2
- (2) 視察研修実施報告について

5 そ の 他

6 閉 会

頸城区地域活性化の方向性の検証 スケジュール

11月 第8回

- 2班に分かれ意見交換
 - 意見内容の発表
- チェックシートなど宿題



12月 第9回

- 宿題をまとめた資料を見て意見交換



1月 第10回

- 頸城区の将来像の意見交換



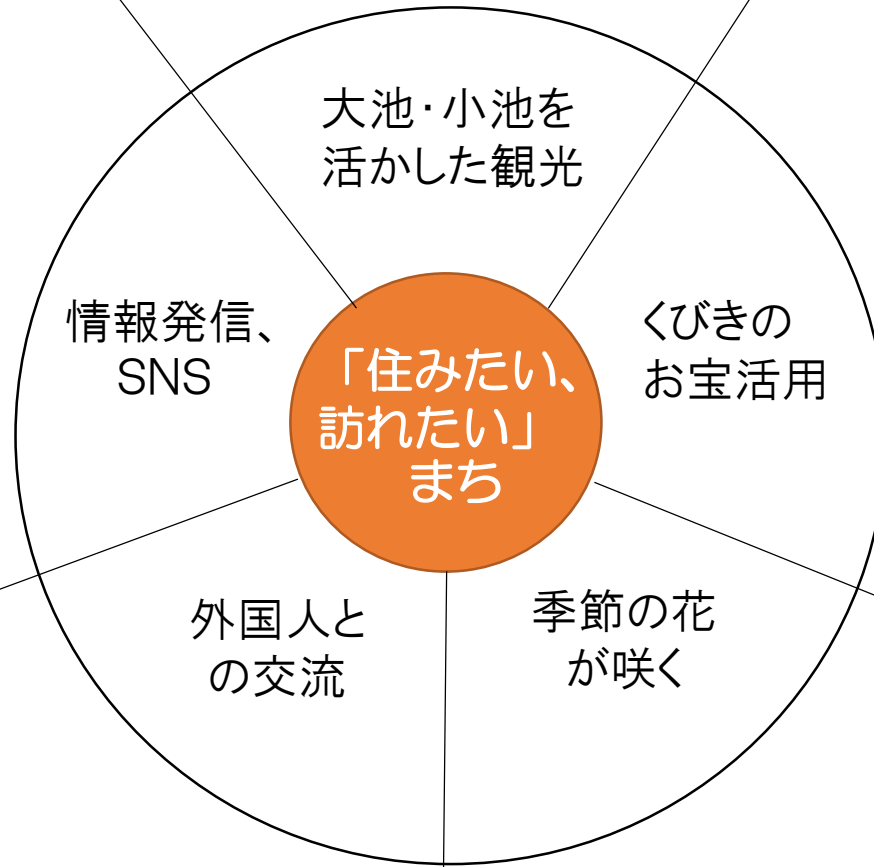
2月 第11回

- 頸城区の将来像のまとめ
1枚のペーパーにまとめる

- ・大池の情報発信するアピールも必要
- ・情報の発信方法が分かっていない
- ・ハッシュタグとかメンション
- ・頸城区の情報を発信するポータルサイト
- ・具体的にアピールをしながら知名度をあげる
- ・頸城独自の情報発信に工夫を
- ・頸城区内への発信も紙だけではなく
- ・LINEとかSNSは使えない人もいるので紙を使って
- ・インスタグラムにコッペルを載せると、キャンプの途中に寄った
- ・半年とか年間の計画表を事前に各家庭に配布

- ・活動は環境整備がメインでイベント的なものでは謙信公祭の狼煙上げくらい
- ・キャンプ場の方は県内外から沢山訪れている
- ・企画・運営をする人材がいない

- ・関心のある方が非常に多く集まり大変魅力あるイベントだが、工夫の余地が
- ・広がりという点で課題がある
- ・頸城区の人がこちらを向いてくれない



全体的な発言から

- ・若い人を育成する作業
- ・地域活動支援事業で公募より各サークルの意気込みが低下
- ・頸城の人たちが参加できるようなシステム
- ・イベントは行ってみたくなる内容に
- ・地域協議会委員がイベントに参加して具体的な意見を
- ・地域に出向いて課題の洗い直しを

- ・地元からファーマーズマーケットだとしても野菜を売らなくてもいい
- ・カラオケや地元の買い物ができるようなものに変化させても
- ・もっと違う角度で親しみが湧くように

・地域で若い人に聞くとそんな行事があったのか

項目	取組状況
①大池・小池を活かした観光	10月14日 大池で秋のきのこを探そう 23人参加 11月11日 錦秋の大池を歩こう 雨天で中止 11月18日 錦秋の大池を歩こう 雨天で中止
②くびきのお宝(レールパーク、館)活用	10月14日 くびき野レールパーク公開 11月3日 瀧本邸の清掃ボランティア 9人 11月11日 瀧本邸公開ボランティア 2人 11月11日 くびき野レールパーク15周年記念事業(希望館)
③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク	10月1日 挿し木講習会(坂口記念館) 11人 10月7日 挿し木講習会(坂口記念館) 10人 10月25日～ 区内3保育園 3歳児以上にムスカリの球根配布 11月3日 くびき文化祭で挿し木の苗を3ポットまで無料配布(300ポット)
④外国人の交流とファーマーズマーケット(買い物難民)	10月15日 南川地区防災訓練(南川小学校) 150人 ※各町内会の防災訓練後に、南川小学校で防災講話を実施。
⑤情報発信と子供の居場所	くびきまちづくり隊10月2回発信、11月1回発信 11月3、4日 くびき文化祭で地域独自の事業パネル展示



挿し木の苗の無料配布(くびき文化祭)



地域独自の事業パネル展示(くびき文化祭)

令和5年度地域独自の予算 チェックシート

氏名

1 地域独自の予算事業の取組と将来像（テーマ）への進み状況 セルフチェック

地域独自の予算事業の取組を踏まえ、「住みたい、訪れたい」まち頸城区に進んでいるか、自身で感じている該当する選択肢にチェックを入れ、必要事項を記入してください。

- 全ての事業がおおむね計画どおりに進み、テーマのスタートに
 一部の事業において、課題があり見直しが必要
 事業全体の見直しが必要または制度の再検討が必要
 その他（ ）

**【「住みたい、訪れたい」まち頸城区への取組の方向で】**

柱	課題や今後の方向性（提案）	変更の要否 どちらかに○
①大池・小池を活かした観光		要 ・ 不要
②くびきのお宝（レールパーク、館）活用		要 ・ 不要
③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク		要 ・ 不要
④外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民）		要 ・ 不要
⑤情報発信と子供の居場所		要 ・ 不要

2 その他 意見等

柱で変更が要に○を記入した場合は、その理由も記入願います。

⑧頸城区

■人口(令和5年3月末現在)

総人口	9,198人
15歳未満	999人 10.9%
65歳以上	2,677人 29.1%
75歳以上	1,314人 14.3%

■地域の送迎サービス等(令和5年度時点)

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	南川小学校区、大瀧小学校区	平日
2	通院送迎	高野循環器内科クリニック	頸城区周辺～病院	火曜日・木曜日
3	通院送迎	山田クリニック(内科等)	頸城区周辺～病院	平日、土曜日の午前中
4	サロン送迎	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回
5	介護予防教室	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回
6	出前サロン送迎	くびき振興会	玄増・大瀧生田・坂田・西福島二区・下吉地区周辺	月1回～年2回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)									
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・負担(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	評価結果
1	南川線	幹線	22,415	8,731	13,684	39.0%	2,547	8,836	57,115(59,073)	9.6(9.6)	1.4-2.2	IV現状維持
2	黒井駅線	支線	8,903	2,493	6,410	28.0%	0	6,409	32,366(35,928)	19.1(21.2)	1.3	IV現状維持
3	犀潟駅線	支線	7,547	1,817	5,730	24.1%	1,159	4,571	25,340(47,543)	7.5(14.0)	1.0	IV現状維持
4	柳町線	支線	4,247	1,306	2,941	30.8%	672	2,268	22,345(23,546)	15.4(16.2)	1.8	IV現状維持
5	くびき駅線	支線	8,568	740	7,828	8.6%	0	7,828	9,108(16,266)	5.3(9.6)	0.5	IV現状維持
6	市営バス(大池線)	支線	35,497	9	35,488	0.0%	0	35,488	10,111(10,409)	6.9(7.2)	-	IV現状維持
合計			87,177	15,096	72,081	17.3%	4,378	65,400	156,385(192,765)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数
 ※市営バス(大池線)の経常費用～市補助・負担は、頸城区スクールバス全体の実績

■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用者数(人)			利用の特徴	
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生		土休日
1	南川線	21	10	18	8	220	-	-	21	小中学生・高校生の通学利用、高齢者の買物・通院利用など。
2	黒井駅線	7	0	4	0	78	2	76	0	小中学生の通学利用が主。
3	犀潟駅線	14	0	9	0	56	1	55	0	
4	柳町線	6	0	4	0	48	0	48	0	
5	くびき駅線	7	0	4	0	31	1	30	0	
6	市営バス(大池線)	6	0	5	0	69	0	69	0	

※令和5年1月調査から ※南川線の1日当たりの利用者数は、便ごとの最大利用者数の合計 ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計。
 ただし、南川線については、停留所ごとに乗降人数を集計していないため人数を掲載していない。

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	南川線	幹線	-	・現状維持
2	黒井駅線	支線	-	・現状維持 ※必要に応じて、バス停の見直し等を行う。 ※引き続き、スクールバスと予約型コミュニティバスへの再編の効果・課題について、調査・研究を行う。 (小中学生の通学利用が多く、利便性と効率性の観点から、現時点での見直しは困難なため、令和10年度以降の再編を検討する。)
3	犀潟駅線	支線		
4	柳町線	支線		
5	くびき駅線	支線		
6	市営バス(大池線)	支線		

※増田線(幹線、くびき野バス運行)は現状維持

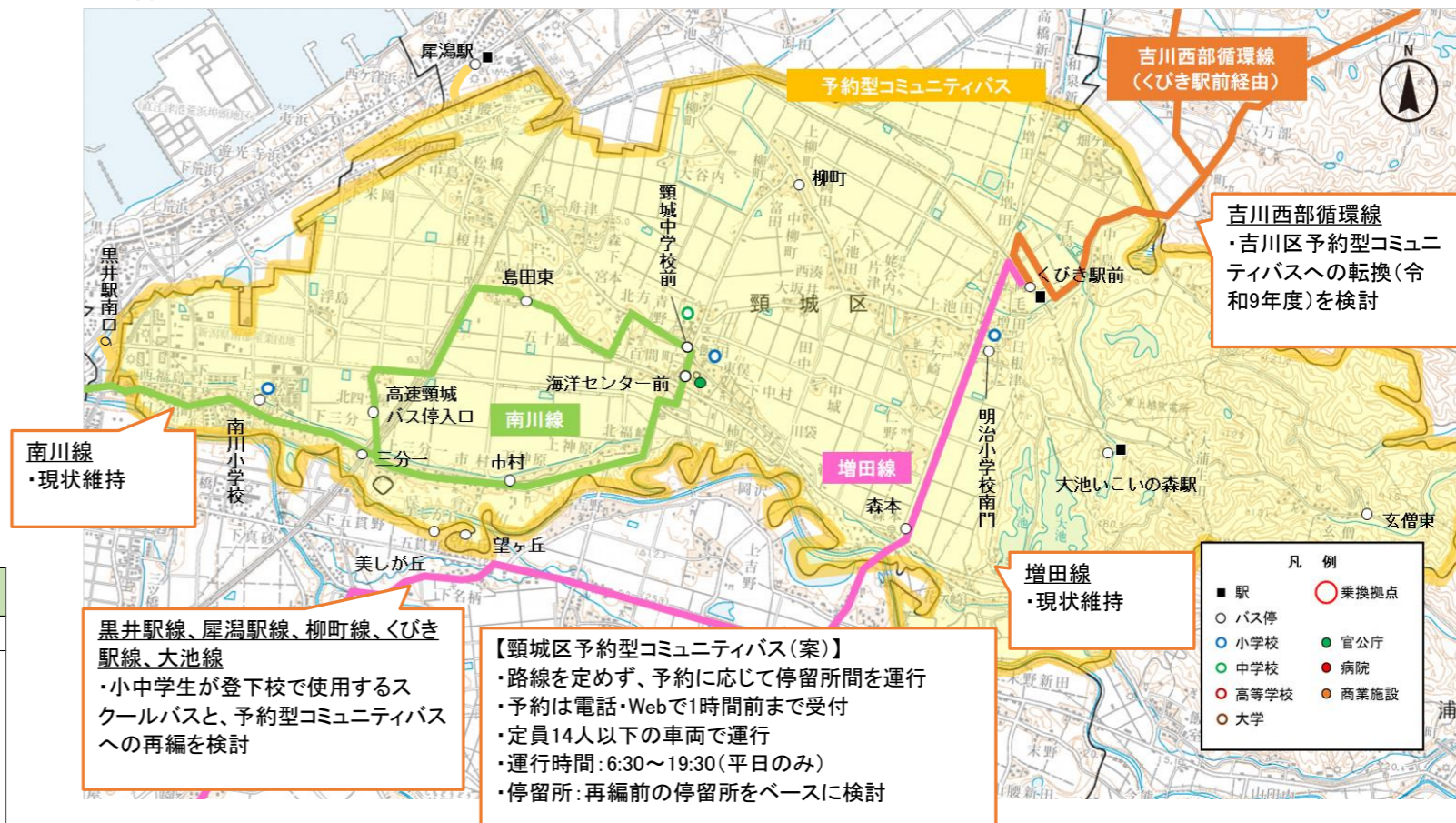
※吉川西部循環線(支線、頸北観光バス運行)は吉川区予約型コミュニティバスへの転換(令和9年度)を検討

(案)

■再編前



■再編後



※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成

市営バス大池線「経常費用」の内訳

市営バス大池線の「経常費用」では、市営バス大池線1台のほか頸城区スクールバス4台を含む計5台の令和4年度全体の経費を計上しています。

(単位：千円)

区分	車両種類・台数	経費の種類	内容	金額
市営バス大池線	中型バス1台	運行委託料	登下校の運行に係るもの	① 3,571
			校外学習等の運行に係るもの	② 305
		維持管理費	消耗品・燃料費・修繕費・定期点検料等	③ 1,815
スクールバス経費 (南川小・大瀧小)	中型バス2台	運行委託料	登下校の運行に係るもの	④ 5,022
			校外学習等の運行に係るもの	⑤ 1,659
	マイクロバス2台	維持管理費	消耗品・燃料費・修繕費・定期点検料等	⑥ 3,355
		車両購入費	マイクロバス2台購入費	⑦ 19,770
計				35,497

【補足】

予約型コミュニティバスへの移行における経費比較対象の別

- (1) 比較の対象となるもの・・・①、③、④、⑥、⑦
- (2) 比較の対象とならないもの・・・②、⑤

※なお、⑦の「車両購入費」は固定資産の取得にあたりますが、市は現金会計のため経常費用欄に含めています。